

平成25年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	下水道事業における市町村の広域連携等の取組みに関する調査経費		担当部局庁	水管理・国土保全局下水道部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度～		担当課室	下水道事業課		課長 増田隆司		
会計区分	一般会計		政策・施策名	4 水害等災害による被害の軽減 11 住宅・市街地の防災性を向上する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	下水道事業については、今後、人口減少や施設の老朽化など下水道事業を取り巻く環境が厳しさを増す中、いかに持続的で健全な下水道事業の運営体制を構築するかが課題となっている。本経費では、持続的・効率的な事業運営を進めるため、市町村において周辺自治体との広域連携による組織体制の強化や県・下水道公社等による広域支援等が必要不可欠であることに鑑み、その取組が推進されるよう必要な調査等を行う。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	文献調査やヒアリング等により、先進的な取組を実施する市町村の事例や組織体制等について収集・整理を行うとともに、県や公社、日本下水道事業団等における支援等について調査・分析を行う。さらに、類似の事業における広域連携の取組等についても参考となる事例について調査を行う。収集した事例をもとに、事業毎に広域連携の取組内容を整理するとともに、事例の分析により、取組を進めるにあたっての効果的な進め方や実施にあたっての必要な体制等を分類・整理する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	20
		補正予算						
		繰越し等						
		計						20
	執行額							
		執行率 (%)						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	本事業は、各下水道管理者において、下水道施設のアセットマネジメントのための体制を構築させ、老朽化対策・地震対策等の推進や経営の健全化などにより将来にわたって持続可能な下水道事業がなされることを目標として実施するものであり、定量的な成果目標を示すことは困難。		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	-	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	下水道事業における市町村の広域連携等の取組みに関する調査報告書件数		活動実績 (当初見込み)		-	-	-	-
					()	()	()	
単位当たりコスト	20百万円 (執行見込額/報告書見込数)		算出根拠	執行見込額 20百万円/報告書見込数1				
平成25・26年度 予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	住宅・市街地防災対策調査費	-	20					
	計	-	20					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	下水道施設は重要な社会資本であり、将来的にも持続的な事業運営が求められるが、市町村における事業運営のあり方を検討することによる必要最低限の支援を行うものであり、国として実施する必要性がある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
事業の効率性	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—	—		
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		—			
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—	—		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—			
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—	—		
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	下水道施設は重要な社会資本であり、将来的にも持続的な事業運営が求められるが、市町村における事業運営のあり方を検討することによる必要最低限の支援を行うものであり、国として実施する必要性がある。					
外部有識者の所見						
-						
行政事業レビュー推進チームの所見						
-						
持続的に下水道事業を実施していく上で優先度の高い事業であり、調査結果を実際の事業に活用するなど、効果的な施策として効率的に執行できるよう努めるべき。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
-						
備考						
-						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年	—	平成23年	—	平成24年	—	—

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

国土交通省

下水道事業における市町村の広域連携等の取組みに関する調査



【競争入札・公募等】

A. 民間企業等
20百万円

下水道事業における市町村の広域連携等の取組みに関する調査の実施

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					